

SEIWA

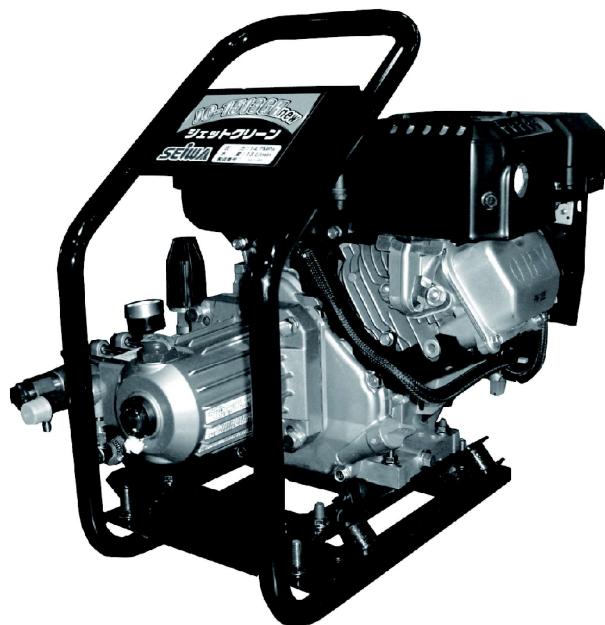
OPE-MAN/JC-1513GHnew/2507

開放型高圧洗浄機

ジェットクリーン

型式 JC-1513GHnew

取扱説明書

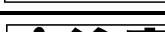


全国No.1のアフターサービスネットワーク
最新技術で豊富な機種

SEIWA 精和産業株式会社

この度は、**SEIWA**「ジェットクリーン」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み、正しく安全にお使いください。誤った取扱は、機械の故障や大変な事故につながります。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
 - 品質、性能向上又は安全上、部品の交換を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
 - 文中の記号について

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きい事を示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します。
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

1	安全のために	1
2	仕様諸元表	2
3	各部名称・機能及び、基本操作	3
4	作業操作手順	4-6
	4-1 始動	4-5
	4-2 停止	6
5	保守点検	7
	5-1 オイル点検	7
6	トラブル対策	8

1 安全のために

△警告

- 噴出口に指や手を当てたり、のぞき込んだり絶対にしないで下さい。
- 人体に向けて、絶対に、洗浄ガンの引金を引かないで下さい。
- 洗浄ホースを強く引張ったり無理に曲げたりしないで下さい。又外観に深いキズが付いていたり、折れ曲がったりつぶれたりしているホースは破裂して水が吹き出す恐れがあり危険です。
- 引火性、爆発性ガスのある場所では使用しないで下さい。火災や爆発事故につながり危険です。
- 風通しの悪い場所、排気ガスがこもる場所では使用しないで下さい。有害な一酸化炭素がたまり、ガス中毒の危険があります。
- ガソリンを給油する時は、エンジンを止め、タバコ・たき火等周囲に火気が無い事を確認してから始動させて下さい。
- ガソリン給油後は、タンクキャップを確実に閉めて下さい。緩んでいると運転中ガソリンがこぼれ気化したガスにより引火する恐れがあります。

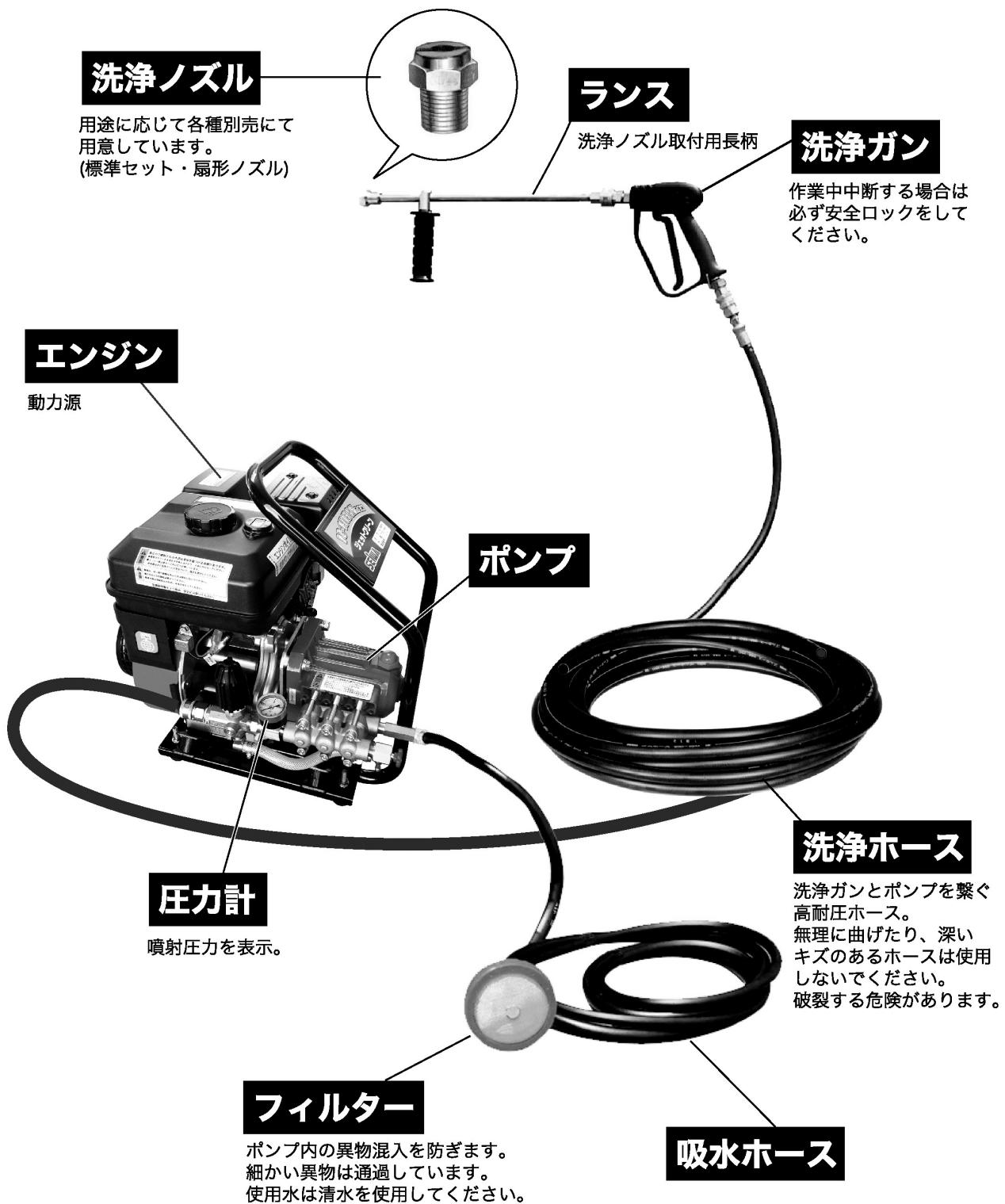
△注意

- ランスのグリップは動かないようしっかりと固定してください。
- グリップと洗浄ガンは両手でしっかりと支えて下さい。
- 安定した足場で使用してください。
- エンジン停止後はホース内に圧力が残っていることがあります。使用後は必ず洗浄ガンの引金を引いて残圧を逃がして下さい。
- 安全の為洗浄作業を行わない時は、必ず安全ロックをして下さい。
- 安全ロックの効かない物や、引金が戻らない物、及び接続部分より漏れが発生するものは使用しないで下さい。
- 火災防止や、エンジンの排気が十分される為に、使用中は建物及びその他の設備から2m以上離して下さい。
- お子様など関係者以外は近づけないで下さい。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 機械は水平な所へ設置して下さい。急な斜面での運転は、オイルが最高油面でも適切な潤滑ができず、焼き付けトラブルを起こしかねません。
- 夏場、直射日光の当たる場所に設置して長時間運転すると、エンジンが止まる事があります、日陰に設置して下さい。
- 運転中、直後のポンプ、エンジン、マフラー付近は高温になります。ヤケドを負う危険がありますので手を触れないで下さい。又マフラーの排気方向に可燃物を置かないで下さい。
- アンローダーは調整済みですから、修理以外はストップリングを動かさないで下さい。
尚規定以上に上げますと、危険であるばかりでなく、故障の原因になります。
- 使用しない時や移動の時は必ずガソリンコックを閉めて下さい。タンク内のガソリンがエンジン内部に流れ込み、始動できなくなる事があります。この場合、キャブレター掃除やエンジンオイル交換が必要になります。
- 凍結が考えられる場合は使用後、水抜きを行って下さい。ポンプ内の水抜きを行う場合はホースを外しリコイルを引くのも一つの方法です。始動前には凍結していないかどうか確認し万一凍結している場合は解凍するまで暖かい場所へ置いて自然解凍を行って下さい。
- ポンプの空運転はしないで下さい。パッキンが著しく磨耗します。又空運転に吸水するとヒートショックによりプランジャーが破損する事があります。
- 強い酸、アルカリの使用は避けて下さい。「PH5～9」の範囲内で使用して下さい。
- 研磨的な作用をする液体の使用はポンプの寿命を著しく短くしますのでご注意下さい。又、異物混入防止の為、吸水ホースには、吸水フィルターを取付けて使用して下さい。
- ポンプ使用限界水温は40°Cまでです。それ以上高い温度の液体を使用しますと、ポンプの早期損傷につながります。

2 仕様諸元表

型 式	J C-1513G Hnew	
ポンプ	マルヤマ MW3SF34G	
圧力制御		
ガソリンエンジン	三菱 GM182PN-12C	
馬力(最大)	4.5 / 6.0 PS	
最大使用圧力 Mpa (kgf/cm ²)	14.7MPa (150 kgf/cm ²)	
総水量 (L/min)	13.0L/min	
寸法 (mm) L × W × H	445 × 391 × 420	
重量 kg	23kg	
付属品	洗浄ホース	9M-30m(カプラ付)
	ガン	P-31-0 (洗浄ガン)
	ノズル	洗浄ノズル 1549
	その他	LC-4 (ランス)

3 各部名称・機能及び、基本操作



4 作業操作手順

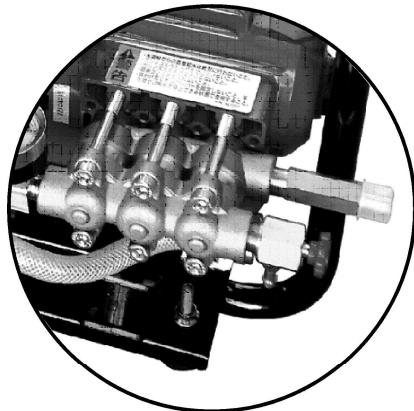
4-1 始動

1 水桶から吸水する場合

- ①吸水ホースを吸水口に取り付け水槽の中に
フィルター側を入れます。

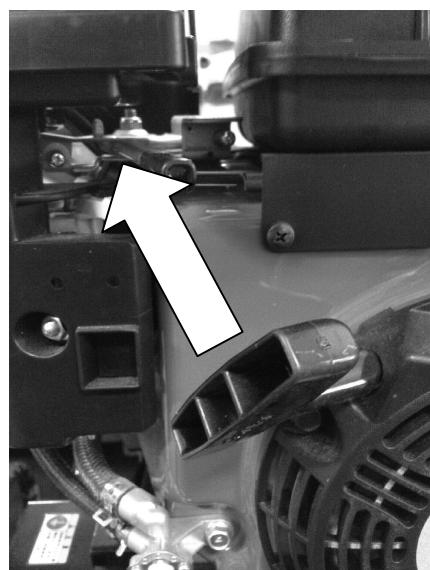


- ②エア抜きバルブを開きます。
(エア抜きチューブの先から水が出ますので、
設置場所にご注意下さい。)



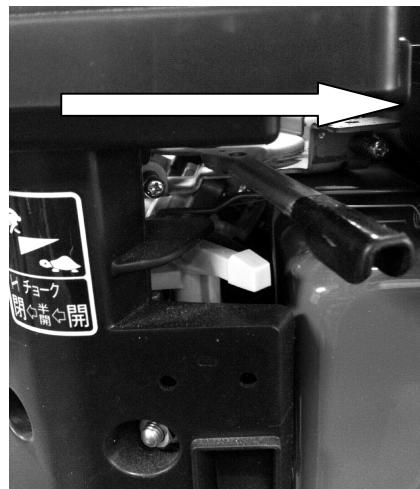
2 エンジンの始動

- ①燃料コックを開き、リコイルスターを
数回軽く引き、燃料を循環させます。



②スピードコントロールレバーを1/3程開き
リコイルスターターを一気に引張ります。

場合によってチョークレバーを引く事もありますが、詳しくは別冊「エンジン取扱い説明書」をご覧下さい。



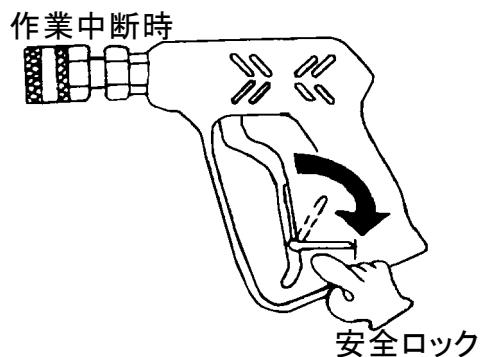
- 3 エア抜きバルブの下部から
十分に水が出ている事を確認したら、エア抜きバ
ルブを閉じ、スピードコントロールレバーを全開
にして下さい。



- 4 ガンを開くとノズルからホース内のエアが抜け
水が出てきます。高圧の水が噴射されたら洗浄を
開始して下さい。



作業中断時
■注意
作業を中断する時はガンの安全ロックを
して下さい。

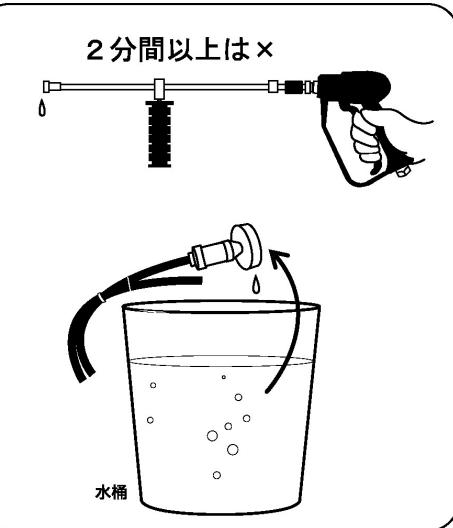


4-2 停 止

- 1 作業が終了したら、エンジンはスロー回転にして水道直結の場合は水道を止め、サクションホースの場合は吸水ホースを水槽から抜き出して下さい。ガンを開いて吸水ホース及びポンプ内の水を抜いて下さい。

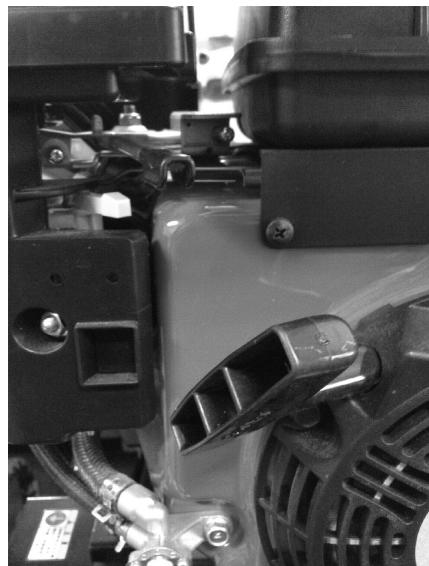
△注意

この時、2分以上の空運転は避けて下さい。
パッキンの異常磨耗の原因になります。

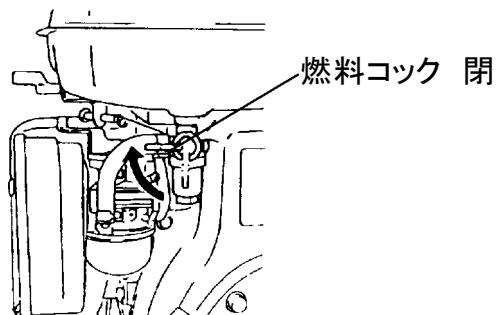


- 2 スピードコントロールレバーを低速側に戻し
20~30秒後スイッチを切ります。

すぐに止めたり、高速回転のままでスイッチを切るとアフターバーンが発生し、エンジンの寿命を短くします。



- 3 燃料コックレバーを『OFF』にします。



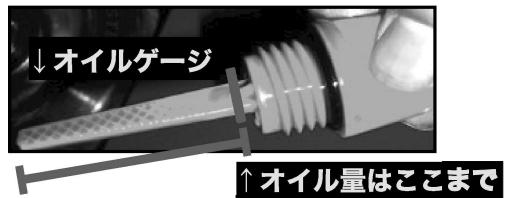
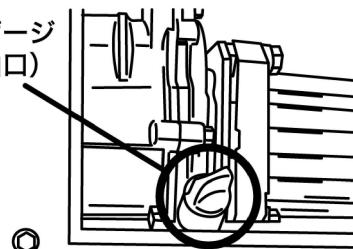
5 保守・点検

5-1 オイルの点検

ポンプのオイル

エンジンオイルの[10W-30]～[10W-40]を使用して下さい。
オイルゲージのマークの所までオイルが入っているか、汚れていないかを調べ、不足の場合は、ポンプ上部の給油口よりオイルを補充して下さい。

エンジンオイルゲージ
(給油口)



エンジンのオイル

標準で使用するオイルは[10W-30]～[10W-40]です。

- 現地の外気温度に適合した粘度、品質のエンジンオイルをご使用下さい。
詳しくは別冊「エンジン取扱説明書」をご覧下さい。
オイルが汚れています。又品質の悪い物を使用しますと、エンジンの寿命を短くします。常に良質できれいなオイルを規定量保つよう注意して下さい。

■ 留意

機械が傾いているとオイルが入っていても正常に循環されない場合があります。
エンジンオイルはゲージの上限まで入れ、平地でご使用下さい。

6 トラブル対策

原因	対策
水を吸わない	
<ul style="list-style-type: none"> ●吸水フィルターの詰まり ●ポンプ弁の固着 ●ポンプ弁へのゴミの引っ掛けり ●吸水ホースの締付不良 ●パッキン不良 ●エア抜きされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●掃除・交換 ●強制吸水、又は掃除・交換 ●吸水口から水道水を強制的に流し込む、又は弁の分解・洗浄 ●増締め、又はパッキン交換 (ホースの穴あきに注意) ●エア抜きバルブを開きエア抜きをする
圧力が低い・圧力が上がらない	
<ul style="list-style-type: none"> ●圧力計の劣化 ●ノズルの磨耗・詰まり、 又はサイズ不適 ●アンローダー操作不良、 又は弁の磨耗・異物の詰まり等 ●弁、弁座、パッキン等の磨耗 ●アンローダー内に異物混入、損傷 ●圧力調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●交換 ●適正ノズルに交換、又は掃除 ●操作の見直し、又は交換・掃除 ●交換 ●分解掃除・交換 ●圧力調整をする
圧力が変動する・ホースが著しく振動する	
<ul style="list-style-type: none"> ●吸水量不足 ●アンローダー内に異物混入、損傷 ●ノズルに異物混入 ●弁、弁座、ピストンパッキン損傷 又は異物混入 ●吸水ホースの締め付け不良、 又はパッキン不良 ●サクションフィルターゴミの詰まり ●エア抜き不足 ●水道水量不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●増水する ●分解掃除・交換 ●掃除 ●交換、又は分解掃除 ●増締め、又はパッキン交換 (ホースの穴あきに注意) ●掃除 ●エア抜きコックにてエア抜きする ●蛇口を開く(全開で使用)

高圧洗浄機の運転開始前に必ず下記空欄に必要なことからを記入して下さい。
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	JC-1516GHnew	ご購入年月日	年月日()
製造番号	No.	ご使用開始年月日	年月日()
ご購入先(必須) ※必ずご記入ください	〒 TEL ()		

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所／精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター 〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	TEL 052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ティー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町吳屋108-6	TEL 0989-43-4495